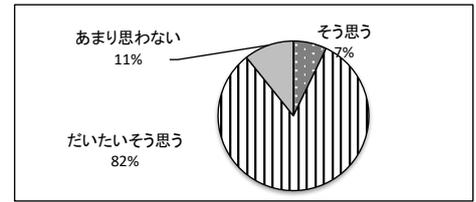


※矢印は昨年度との比較

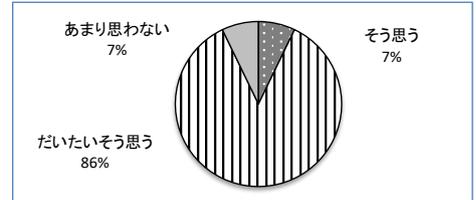
1 【教育目標】本校の教育目標の達成に向けて、幼児児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた指導が行われている。

そう思う	だいたいそう思う	あまり思わない	まったく思わない
4	46	6	0
89%↘		11%	



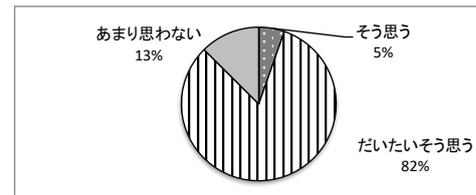
2 【子ども像】「明るく元気に楽しく学べる子ども」「自分のことに自分で取り組む子ども」「まわりの人と仲良くする子ども」を育成する教育となっている。

そう思う	だいたいそう思う	あまり思わない	まったく思わない
4	48	4	0
93%↗		7%	



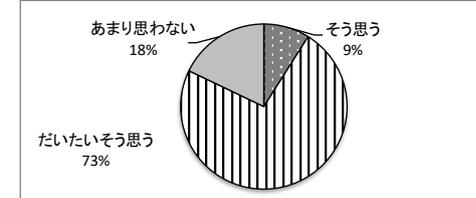
3 【学習指導】「一人一人が確かに育つ」ための手立てを取って授業が行われ、子どもの生きる力が高まっている。

そう思う	だいたいそう思う	あまり思わない	まったく思わない
3	46	7	0
87%↗		13%	



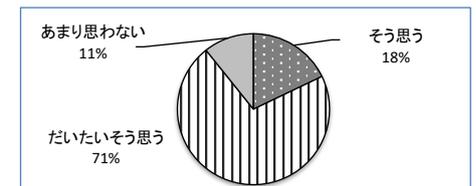
4 【生徒指導】学校生活全般にわたる指導・支援を通して、幼児児童生徒が基本的な生活習慣及び年齢相応の人とのかかわりなどの社会性が高まっている。

そう思う	だいたいそう思う	あまり思わない	まったく思わない
5	41	10	0
82%↘		18%	



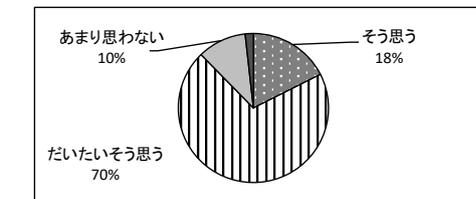
5 【健康指導】子どもの健康の維持と体力の向上をめざす指導が行われている。

そう思う	だいたいそう思う	あまり思わない	まったく思わない
10	40	6	0
89%↘		11%	



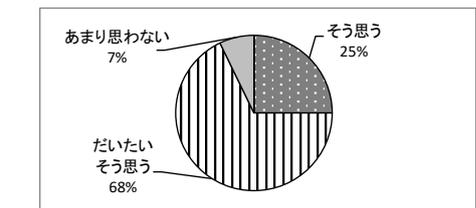
6 【危機管理】安全・安心な学校となるように、学校事故や交通事故の未然防止のための情報共有及び災害への対応について、手だてが取られている。

そう思う	だいたいそう思う	あまり思わない	まったく思わない
10	40	6	1
88%→		12%	



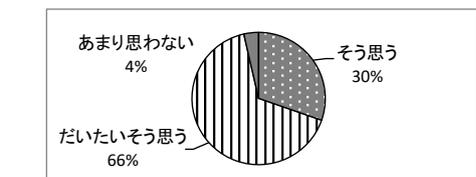
7 【教育環境】さまざまな感染症に対する感染防止対策は適切に行われ、障がいがある子どもが学ぶために配慮した、快適に学校生活を送ることができる教育環境となっている。

そう思う	だいたいそう思う	あまり思わない	まったく思わない
14	38	4	0
93%↗		7%	



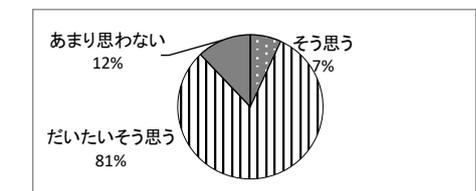
8 【専門研修】校内におけるさまざまな研修が、専門性の向上につながっている。

そう思う	だいたいそう思う	あまり思わない	まったく思わない
17	37	2	0
96%↗		4%	



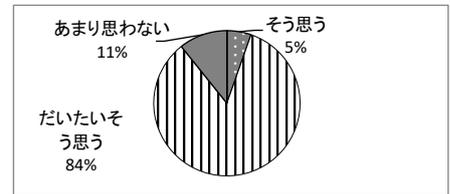
9 【学校研究】学校研究の取組が、日常的な授業改善につながっている。

そう思う	だいたいそう思う	あまり思わない	まったく思わない
4	47	7	0
88%↘		12%	



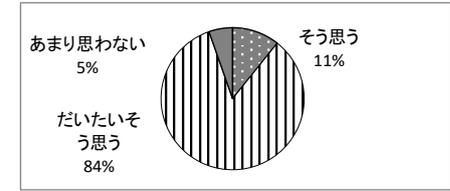
10【進路指導】 幼稚園・小学部の早期から、自立と社会参加に向けた進路指導とキャリア教育の視点をもった教育が行われている。

そう思う	だいたいそう思う	あまり思わない	まったく思わない
3	47	6	0
89%→		11%	



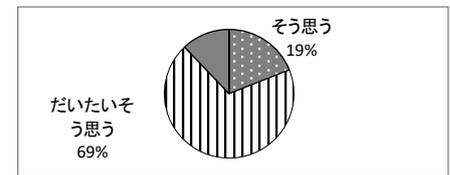
11【理解・啓発】 学校公開やHP、広報等の定期的な情報発信を通して、本校教育の理解・啓発が図られている。

そう思う	だいたいそう思う	あまり思わない	まったく思わない
6	47	3	0
95%↘		5%	



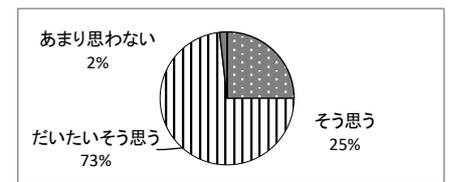
12【センター的機能】 地域の特別支援教育のセンターにふさわしい教育相談及び地域支援の取組となっている。

そう思う	だいたいそう思う	あまり思わない	まったく思わない
11	40	7	0
88%↘		12%	



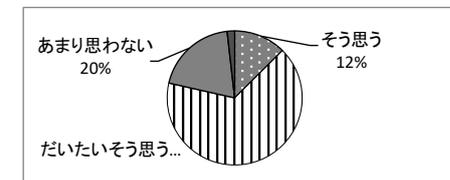
13【交流及び共同学習】 学校周辺の地域や居住地域等との交流及び共同学習が適切に実施されている。

そう思う	だいたいそう思う	あまり思わない	まったく思わない
14	41	1	0
98%↗		2%	



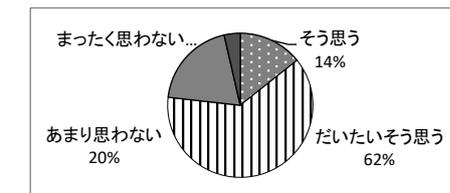
14【運営組織】 現在の学校運営組織が、学校の教育目標達成に向けて取り組む際に、適切なものとなっている。

そう思う	だいたいそう思う	あまり思わない	まったく思わない
7	37	11	1
78%↘		22%	



15【職場環境】 同僚性を大切にし、「働きがい」や「つながり」のある運営を創造する職場環境となっている。

そう思う	だいたいそう思う	あまり思わない	まったく思わない
8	35	11	2
76%↘		24%	



「そう思う」「だいたいそう思う」を合わせたA+B評価（ポジティブ）について、昨年度と比較して、5項目が上昇、8項目が下降、2項目が横ばいであった。15項目中、13項目が80%以上、うち5項目が90%の評価であった。以下、学校経営の重点に沿ってまとめたものである。

重点1 個々の教育的ニーズに対応し、子どもの学びの連続性を重視した教育活動の展開

・学校研究では、個々の実態やニーズを把握したうえで、作成した学習内容表をもとに学習計画を考えた授業を計画し、学習指導要領の系統性を意識して教育活動を行うことができた。

重点2 安全で安心できる教育環境の整備

・今年度は、感染症への対策に加え、熱中症やクマ対策など様々なケースに対応して教育活動を工夫して取り組んだ。安全マニュアル等を見直し、どのような時でも安全で安心できる教育活動ができるよう事前の備えを丁寧に行うようにする。

重点3 子どもの可能性を伸ばし、活用の可能性を広げる教育資源の整備（デジタル対応）

・ICT機器を活用して、動画の活用にとどまらず、子ども自らが操作して作品を作るような教育活動を展開できた。先進技術を活用しより一層子どもの思いを表現できるよう工夫していく。

重点4 日常的なOJTによって、学び合える教職員の環境づくり

・進路に関する研修や、愛着障がいなど様々な研修会を行うとともに、日々の授業をもとに研修を行ったり、ちょっとした時間にICT活用の研修を行ったりするなど、日常的に研修し学び合うことができた。今後も教員一人一人の専門性を生かし、学び合える環境づくりを整えていく。

「あまり思わない」「まったく思わない」と答えた場合には、改善策の記入を求めた。また、改善策や意見に対して、各学部や分掌部に振り分けて、年間反省に取り入れるようにした。一方で、個人の意見になりやすいことから、学校評価と年間反省の仕方や項目の精選など反映しやすいよう工夫していきたい。